

三重県合唱連盟加盟団体 様

三重県合唱連盟
理事長 羽根 功二

第48回三重県合唱コンクールの開催について

恒例の三重県合唱コンクールを下記の要領で開催いたします。奮ってご参加下さいますようお願いいたします。

記

1. 名称 第48回三重県合唱コンクール
2. 日時 平成20年8月17日(日) 10:30～(予定)
3. 会場 三重県総合文化センター 三重県文化会館 大ホール
〔津市一身田上津部田1234 Tel.059-233-1111〕
4. 主催 三重県合唱連盟、三重県高等学校合唱連盟
三重県中学校合唱連盟、朝日新聞社、三重県教育委員会
5. 共催 三重県高等学校文化連盟
6. 後援 津市教育委員会
7. 審査員 伊藤 光子 (合唱指揮者)
上西 一郎 (合唱指揮者)
小玉 晃 (声楽家)
西岡 茂樹 (合唱指揮者)
若林 千春 (作曲家) 五十音順、敬称略
8. 申込方法 別紙申込書に必要事項を記入の上、下記まで必ず郵送して下さい。
申し込み締切は7月12(土)(必着)とします。期限厳守。FAX不可。
郵送先：〒518-0225 伊賀市桐ヶ丘2-34 山本 貞子
TEL (0595)52-1048 (自宅)
9. 参加規定
 - ① 出場資格 三重県合唱連盟加盟団体とする。
ただし申込時に加盟することもできる。
 - ② 部門別 中学校(同声・混声)部門、高等学校(A・B)部門、大学部門、
職場部門、一般(A・B)部門
◇中高一貫校の扱いについて
平成16年度から中高一貫校による合唱団は高校部門に参加できるようになりました。ただし、中高一貫校として出場する中学生は規定上高校生として扱い、中学校部門には出場できません。また、中学校部門と高校部門に分かれて参加する場合は従来どおりです。
 - ③ 出場人数 ◇1団体につき8名以上とする。ただし、高等学校・一般部門については、
人数によって以下の2グループに区分する。
Aグループ：32名以下
Bグループ：33名以上
◇いずれも、指揮者、伴奏者、独唱者は除く。ただし、これらが合唱に加わる場合、
または交代して歌う場合には、合唱をする延べ人数でグループ区分をする。

◇この区分は、中部合唱コンクール、全日本合唱コンクールにおいても変更はできない。

(注) Aグループとして申し込んだ団体が延べ人数 33 名以上で出場すると失格となる。Bグループとして申し込んだ団体が延べ人数 32 名以下で出場しても失格にはならないが、Aグループとしては扱われない。

- ④演奏曲目 ◇演奏曲目は、課題曲及び自由曲とする。ただし、中学校は自由曲のみとする。
◇課題曲は、全日本合唱連盟発行の『合唱名曲シリーズ No.37 (平成 20 年度全日本合唱コンクール課題曲集)』より、それぞれの団体の種別 (混声,男声,女声) に適合する 1 曲を選び、最初に全員で演奏すること。
尚、『合唱名曲シリーズ』より 2 曲以上演奏する場合は、最初に演奏する曲を課題曲とみなす。
◇自由曲は合唱が主体であれば、その選曲は自由とする。曲数も演奏制限時間 (後記) 内であれば制約はない。
◇申込時に登録した課題曲及び自由曲は、中部合唱コンクール・全日本合唱コンクールにおいても変更できない。(演奏順も変更できない)
- ⑤演奏時間 ◇演奏時間は、自由曲の演奏開始から演奏終了まで、中学校部門は 8 分 0 0 秒を、高等学校部門は 6 分 3 0 秒を、大学・職場・一般部門は 8 分 3 0 秒を越えてはならない。(音の出始めから最後の音が消える時までの時間で、指揮者の合図を基準とする。)
- ⑥伴奏楽器 ◇伴奏楽器は自由とする。ただし、ピアノ以外の伴奏楽器を使用する場合各団にて準備すること。
- ⑦審査 審査は各部門・各グループ別に行い、新增沢方式で集計する。
- ⑧表彰 ◇各部門・各グループ別の優秀団体に、金賞・銀賞・銅賞の各賞を授与し、表彰する。
◇全部門を通じての最優秀団体 (シード団体は含まない) には全日本理事長賞を授与し、表彰する。
◇全部門を通じての最優秀団体 (シード団体を含む) には三重県理事長賞を授与し、表彰する。
- ⑨中部合唱コンクール (中部支部大会) 出場団体の推薦
◇全日本合唱コンクールの規定及び審査結果に基づき、各部門・各グループ別に、優秀団体は三重県代表として中部合唱コンクールに推薦する。
◇前年度の中部合唱コンクールにおいて全国大会に推薦された団体で当コンクールに参加した団体は、シード団体 (特別推薦団体) として、審査対象外とし、上記推薦規定とは別に中部支部大会に推薦できる。(ただし、中学校は除く。)
◇推薦団体数は、各部門・グループごとに、参加団体数が 5 団体までは 1 団体を、6 団体以上の場合は 5 団体につき 1 団体をさらに推薦することができる。ただし、シード団体 (特別推薦団体) は参加団体数に数えない。
- ⑩参加費
中学校 ¥ 6,000 + ¥300 × 人数
高校 ¥ 10,000 + ¥ 500 × 人数
大学・職場・一般 ¥ 15,000 + ¥ 600 × 人数
◇参加費は当日の出場人数 (指揮者・伴奏者・独唱者を除く) でお支払い下さい。
◇中学校以外の出場団体は、三重県合唱連盟維持会員 (1 口 1 万円) を依頼して下さい。
- ⑪その他 その他、細則については全日本合唱コンクール開催規定に従う。

10. その他

- ◇コンクール当日、審査員用として自由曲の楽譜を5部（部門・団体名を明記した付箋を演奏曲目の頁につける）を提出して下さい。コピーは使用できません。問題がある場合には申し込み時に事務局にご相談下さい。
- 尚、審査員用楽譜は演奏終了後返却しますので、忘れないで持ち帰って下さい。
- ◇全日本合唱連盟は、合唱名曲シリーズの購入冊数とプログラム記載の参加人数を調査します。購入冊数が参加人数より少ない場合は追加購入していただくこととなりますのでご注意下さい。この場合は至急事務局に申し出て下さい。
- ◇参加団体数によって開始時間などが変更になる場合があります。その場合は必ず文書で連絡しますので、ご注意下さい。
- ◇出演順は、理事会にて抽選し、決定します。
- ◇ピアノはステージ中央に固定します。
- ◇写真・ビデオ撮影については、業者が入ります。

◎第61回中部合唱コンクール

期 日 平成20年9月27日(土)

【高校部門・大学部門・職場部門】

28日(日)

【中学部門・一般部門】

会 場 富山県魚津市 新川文化ホール

[〒937-0853 富山県魚津市宮津110]

審査員 浅井 敬壹 (合唱指揮者)

吉村 信良 (合唱指揮者)

長谷川冴子 (合唱指揮者)

岡部 申之 (声楽家)

若林 千春 (作曲家) 五十音順、敬称略

◎第61回全日本合唱コンクール

◆中学部門・高校部門

期 日 平成20年10月25日(土) 【高校部門】

26日(日) 【中学部門】

会 場 香川県 アルファあなぶきホール (香川県県民ホール) [〒760-0030 高松市玉藻町9-10]

◆大学部門・職場部門・一般部門

期 日 平成20年11月22日(土) 【大学部門・一般部門Aグループ】

23日(日) 【職場部門・一般部門Bグループ】

会 場 岡山シンフォニーホール [〒700-0822 岡山市表町1-5-1]

2008(平成20年)年度【第48回三重県合唱コンクール】 参加申込書

| | | | |
|---------------|-------------------------------------|-----------------------|------|
| (ふりがな) 団体名 | | | |
| 部 門 | * 中学校同声 中学校混声 高校A 高校B 大学 職場 一般A 一般B | | |
| 種 別 | * 女声 男声 混声 同声 | | |
| 出場人数 | 名 | | |
| (ふりがな) 指揮者 | | | |
| (ふりがな) 伴奏者 | | | |
| 伴奏楽器 | * 使用しない ピアノ その他 () | | |
| | 曲 目 | 作詞(訳詞)・作曲(編曲) | 演奏時間 |
| 演奏曲目 | 課 題 曲 | | 分 秒 |
| | 自 由 曲 | | 分 秒 |
| | 曲 | | 分 秒 |
| | 曲 | | 分 秒 |
| 備 考 | 曲間を含む | | |
| | 自由曲の演奏合計時間 | | 分 秒 |
| | 課題曲と自由曲を合わせ | | |
| | た全ての演奏合計時間 | | 分 秒 |
| | 指揮台 (要・不要) | 譜めくり椅子 (要・不要) | |
| | 譜面台 (要・不要) | ピアノ蓋 (0cm, 8cm, 20cm) | |

平成 年 月 日

責任者氏名

印

連絡先 〒 -

三重県

Tel. - -

- 注 ① * の付いている欄については該当部分を○で囲んで下さい。
 ② プログラムの記載の元となりますので、楷書で読みやすいように記載して下さい。
 特に合唱団名は必ず正式名称を記載して下さい。
 ③ 自由曲の楽譜の曲名・作曲者(編曲)・作詞者(訳詞)・のわかる部分をコピーして必ず同封して下さい。
 ④ 申し込み締め切り 7月12日(土) 必着 期限厳守。FAX 不可。

出演申込みの曲目等についての コピー添付について（お願い）

三重県合唱連盟事務局では、これまで皆様方からいただいた出演申込書により、曲目等を掲載したプログラム原稿を作成してきました。

しかしながら、申込書に書かれたものが不完全であったり、読みづらかったり、同一曲でありながら表記方法が異なったり等で、その作成に大変な時間と労力を要してきました。

このことを解消するため、また、より正確なプログラムとするため、出演申込みの際、原本楽譜から直接曲目等のコピーを取っていただいて申込書に添付していただくことをお願いいたしております。

ただ、楽譜コピーは法律で禁じられていることは、皆様よくご存じのことと思います。コピーしていただきたいのは「文字の部分」であり、楽譜の部分ではありませんのでお間違えのないようよろしくお願いいたします。具体的には、楽譜表紙、あるいは目次部分等になるかと思えます。（形式は問いません）

では、よろしくお願い申し上げます。

◎ コピーで提出いただきたい内容

- 1 曲 目
- 2 作詞者（訳詞者）
- 3 作曲者（編曲者）

※・念のため、出版社名が分かるようにしていただくとありがたいです。

（手書きでかまいません）

- ・プログラムに掲載する内容は、提出していただいたもの全てを掲載するとは限りません。ご了承ください。